



電話機 NTP リファレンスの設定

必要な場合には、電話機の Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) リファレンスを Cisco Unified CallManager の管理ページで設定すると、Cisco SIP IP Phone が日付と時刻を NTP サーバから取得するようになります。どの NTP サーバも応答しない場合、SIP 電話機は、日付と時刻の REGISTER メッセージに対する 200 OK 応答の日付ヘッダーを使用します。

電話機 NTP リファレンスを Cisco Unified CallManager の管理ページに追加したら、そのリファレンスを日付 / 時間グループに追加する必要があります。日付 / 時間グループでは、電話機でアクセスする最初のサーバから順に、電話機 NTP リファレン스에優先順位を設定することができます。

日付 / 時間グループの設定はデバイス プール内で指定し、デバイス プールは電話機ページで指定します。

電話機 NTP リファレンスを設定するには、次のトピックを参照してください。

- [電話機 NTP リファレンスの検索 \(P.5-2\)](#)
- [電話機 NTP リファレンスの設定 \(P.5-3\)](#)
- [電話機 NTP リファレンスの設定値 \(P.5-4\)](#)
- [電話機 NTP リファレンスの削除 \(P.5-5\)](#)

電話機 NTP リファレンスの検索

Cisco Unified CallManager の管理ページでは、複数の電話機 NTP リファレンスを設定することができます。このため、Cisco Unified CallManager の管理ページでは個々の電話機 NTP リファレンスを検索できるようになっています。Cisco Unified CallManager の管理ページに存在する電話機 NTP リファレンスを検索する手順は、次のとおりです。



(注)

ブラウザセッションでの作業中は、検索 / リストの設定がクライアント マシンの cookie に保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合や、ブラウザを閉じてから再び新しくブラウザ ウィンドウを開いた場合でも、検索に変更を加えない限り、Cisco Unified CallManager の検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [システム] > [電話用 NTP] の順に選択します。

[電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウが表示されます。



ヒント

データベースにある電話機 NTP リファレンスをすべて検索するには、検索条件を入力せずに [検索] をクリックしてください。

ステップ 2 検索条件を [検索] ドロップダウン リスト ボックスから選択することもできます。目的の検索テキストがある場合はそのテキストを入力し、[検索] をクリックします。

[電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウでは、ページごとに表示する項目の数も指定できます。

ステップ 3 レコードのリストから、検索条件と一致する電話機 NTP リファレンス名をクリックします。

追加情報

P.5-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

電話機 NTP リファレンスの設定

電話機 NTP リファレンスを Cisco Unified CallManager データベースに追加する手順、およびデータベース内の電話機 NTP リファレンスを更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [システム] > [電話用 NTP] の順に選択します。

[電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 電話機 NTP リファレンスを Cisco Unified CallManager データベースに追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、[ステップ 3](#)に進みます。
- 既存の電話機 NTP リファレンスを更新するには、既存の電話機 NTP リファレンスを見つけて ([P.5-2](#) の「電話機 NTP リファレンスの検索」を参照)、[ステップ 3](#)に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します ([表 5-1](#) を参照)。

ステップ 4 設定をデータベースに保存するには、ウィンドウ左上のツールバーに表示されている [保存] アイコンをクリックします。または、ウィンドウの一番下に表示されている [保存] ボタンをクリックします。

次の手順

新しい電話機 NTP リファレンスを Cisco Unified CallManager データベースに追加したら、そのリファレンスを日付/時間グループに割り当てます。詳細については、[P.6-4](#) の「日付/時間グループの設定」を参照してください。



追加情報

[P.5-6](#) の「関連項目」を参照してください。

電話機 NTP リファレンスの設定値

表 5-1 では、電話機 NTP リファレンスの設定値について説明します。関連する手順については、P.5-6 の「関連項目」を参照してください。

表 5-1 電話機 NTP リファレンスの設定値

フィールド	説明
[IP アドレス]	<p>SIP 電話機が日時の取得に使用する NTP サーバの IP アドレスを入力します。</p> <p> (注) Cisco Unified CallManager を電話機 NTP リファレンスとして設定することはできません。</p>
[説明]	<p>電話機 NTP リファレンスの説明を入力します。[IP アドレス] フィールドにある情報が、Cisco Unified CallManager の管理ページによって [説明] フィールドに自動的に入力されます。必要に応じて、この情報を変更することができます。</p>
[モード (Mode)]	<p>ドロップダウンリスト ボックスから、電話機 NTP リファレンスのモードを選択します。選択できる値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Directed Broadcast] : このデフォルト NTP モードを選択すると、電話機は任意の NTP サーバから日時情報を取得しますが、リストされている NTP サーバ (1st = プライマリ、2nd = セカンダリ) を優先的に使用します。たとえば、電話機の設定で A がプライマリ NTP サーバ、B がセカンダリ (バックアップ) NTP サーバになっている場合、電話機は NTP サーバ A からのブロードキャスト パケットを使用 (日時を取得) します。NTP サーバ A がブロードキャストを実行していない場合は、NTP サーバ B からの日時情報にアクセスします。どちらの NTP サーバもブロードキャストを実行していない場合は、他の任意の NTP サーバからの日時情報にアクセスします。他の NTP サーバもブロードキャストを実行していない場合、電話機は REGISTER メッセージに対する Cisco Unified CallManager 200 OK 応答から日時を取得します。 • [Unicast] : このモードを選択した場合、電話機は特定の NTP サーバに NTP クエリー パケットを送信します。応答を受信できない場合、電話機は他の任意の NTP サーバからの日時情報にアクセスします。他の NTP サーバも応答しない場合、電話機は REGISTER メッセージに対する Cisco Unified CallManager 200 OK 応答から日時を取得します。 <p> (注) Cisco Unified CallManager は、現時点では Multicast モードおよび Anycast モードをサポートしていません。これらのモードを選択した場合は、デフォルトの Directed Broadcast モードに設定されます。</p>

電話機 NTP リファレンスの削除

Cisco Unified CallManager データベースから電話機 NTP リファレンスを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

電話機 NTP リファレンスを Cisco Unified CallManager の管理ページから削除するには、そのリファレンスを事前に日付 / 時間グループから削除する必要があります。電話機 NTP リファレンスを使用している日付 / 時間グループを検索するには、[電話用 NTP の設定 (Phone NTP Reference Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスにある [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。電話機 NTP リファレンスを使用している日付 / 時間グループがわかっている場合は、該当する電話機 NTP リファレンスをそのグループから削除します。

依存関係レコードがシステムで使用可能でない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示され、依存関係レコードを使用可能にするための操作が示されます。このメッセージには、依存関係レコード機能によって CPU に高い負荷がかかることも表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4](#) の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [P.5-2](#) の「[電話機 NTP リファレンスの検索](#)」の手順を使用して、電話機 NTP リファレンスを検索します。
- ステップ 2** 複数の電話機 NTP リファレンスを削除するには、[電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウで、対象となる電話機 NTP リファレンスの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] アイコンまたは [選択項目の削除] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** 電話機 NTP リファレンスを 1 つだけ削除するには、次の作業のいずれかを実行します。
- [電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウで、対象となる電話機 NTP リファレンスの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] アイコンまたは [選択項目の削除] ボタンをクリックします。
 - [電話用 NTP の検索と一覧表示 (Find and List Phone NTP References)] ウィンドウで、電話機 NTP リファレンスの [IP アドレス (IP Address)] リンクをクリックします。その電話機 NTP リファレンスの [電話用 NTP の設定 (Phone NTP Reference Configuration)] ウィンドウが表示されたら、[削除] アイコンまたは [削除] ボタンをクリックします。
- ステップ 4** 削除操作を確認するように求められたら、[OK] をクリックして削除します。削除操作を取り消す場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
-

追加情報

[P.5-6](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [電話機 NTP リファレンスの設定 \(P.5-1\)](#)
- [電話機 NTP リファレンスの検索 \(P.5-2\)](#)
- [電話機 NTP リファレンスの設定 \(P.5-3\)](#)
- [電話機 NTP リファレンスの設定値 \(P.5-4\)](#)
- [電話機 NTP リファレンスの削除 \(P.5-5\)](#)
- [日付 / 時間グループの検索 \(P.6-2\)](#)
- [日付 / 時間グループの設定 \(P.6-4\)](#)
- [日付 / 時間グループの設定値 \(P.6-5\)](#)
- [日付 / 時間グループの削除 \(P.6-7\)](#)